

身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）

氏 名	<small>明治 大正 昭和 平成 令和</small>	年 月 日生	男 ・ 女
住 所			
① 障害名（部位を明記）			
② 原因となった 疾病・外傷名		交通, 労災, その他の事故, 戦傷, 戦災 自然災害, 疾病, 先天性, その他()	
③ 疾病・外傷発生年月日		年 月 日	場 所
④ 参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）			
		障害固定又は障害確定（推定）	
		年 月 日	
⑤ 総合所見			
		〔将来再認定 要 ・ 不要〕 (再認定の時期 令和 年 月)	
⑥ その他参考となる合併症状			
上記のとおり診断し、併せて次の意見を付する。			
令和 年 月 日		<small>病院又は診療所の名称 所 在 地 電 話 番 号 診療担当科名 氏 名</small>	
		科 Ⓜ	
身体障害者福祉法第15条第3項の意見 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に [障害部位ごとの等級, 障害の内容及び指数についての参考意見]			
		・ 該当する (級相当) ・ 該当しない	
障害部位	等級	障害の内容	指数
.....
.....
総 合	級	合 計	点
注意 1 この書類は、身体障害者福祉法第15条第1項の規定による指定を受けた医師が作成すること。 2 この書類には、障害の種類に応じて知事が別に定める様式による障害の状況及びこれに係る所見を記載した書類を添付すること。			

呼吸器の機能障害の状況及び所見

(該当するものを○でかこむこと)

1 身体計測

身長 cm 体重 Kg

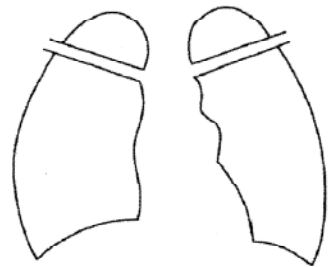
2 活動能力の程度 (修正MRC)

(活動能力と等級の関係:ア 非該当 イ・ウ 4級相当 エ 3級相当 オ 1級相当)

- ア 激しい運動をした時だけ息切れがある。
- イ 平坦な道を早足で歩く,あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。
- ウ 息切れがあるので,同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い,あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時,息切れのために立ち止まることもある。
- エ 平坦な道を約100m,あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。
- オ 息切れがひどく家から出られない,あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3 胸部エックス線写真所見 (年 月 日)

- ア 胸膜癒着 (無・軽度・中等度・高度)
- イ 気腫化 (無・軽度・中等度・高度)
- ウ 線維化 (無・軽度・中等度・高度)
- エ 不透明肺 (無・軽度・中等度・高度)
- オ 胸郭変形 (無・軽度・中等度・高度)
- カ 心・縦隔の変形 (無・軽度・中等度・高度)



4 換気機能 (年 月 日)

- ア 予測肺活量 . L (実測肺活量 . L)
- イ 1秒量 . L (実測努力肺活量 . L)
- ウ 予測肺活量1秒率 % (= $\frac{\text{イ}}{\text{ア}} \times 100$)

(アについては,下記の予測式を使用して算出すること。)

肺活量予測式(L)

男性 $0.045 \times \text{身長(cm)} - 0.023 \times \text{年齢(歳)} - 2.258$

女性 $0.032 \times \text{身長(cm)} - 0.018 \times \text{年齢(歳)} - 1.178$

(予測式の適応年齢は男性18-91歳,女性18-95歳であり,適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。)

検査不能の場合は,理由を記入すること。

5 動脈血ガス (年 月 日) [室内空気吸入時・酸素吸入時(ℓ/m)]

※可能な限り室内空気吸入時での検査とすること。

- ア O₂ 分圧 : Torr
- イ CO₂ 分圧 : Torr
- ウ p H :
- エ 採血より分析までに時間を要した場合 時間 分
- オ 耳朶血を用いた場合: []

6 その他の臨床所見